

研修部より 研修会報告・予告

本年度は、13 コース 28 日（現任者基礎研修・医療ニーズ研修は山口県からの受託事業）の研修を企画・開催しております。



◎居宅介護支援事業所の現場で役立つ実務事務研修

訪問看護ステーションつくし 松井清之先生

松井先生にご指導いただいて4年になりました。毎年ご好評いただき、本研修のために入会する方やリピーターが多いのが特徴です。事務業務の指導のなかに、松井先生の真摯な姿勢、熱意が感じられる研修です。

- ・資料も現場ですぐ使えるような内容で、今後長く活用出来そう。
- ・昨年も参加させて頂き、とてもわかりやすく参考になりました。仕事の流れが出来た上で講義をうけると尚内容が入りやすく、自分の間違いにも気付かせてもらいました。
- ・ウラわざのような事をたくさん教えてもらう事が出来た。
- ・経験の長いケアマネジャーにも一度受講してほしい。

受講された方々は事務業務を手早く捌き、対象者に向き合う時間を持てるでしょう。

◎研究の進め方研修会～初めの一步～

山口県立大学 社会福祉学部 横山正博教授

介護支援専門員の質の向上・評価が謳われている昨今、ケアマネジメントの質を「可視化」し「言語化」して伝えられること、支援者が自身の支援を客観視できることは非常に重要です。地位向上のために、われわれ自身が研究に取り組み、現場の実践の中から新たな知見を社会に発信していくことが求められています。

ただいま5題の研究が進行中です。熱心な会員さんが初めの一步を踏み出しました。ケアマネジメント研究大会にも幾つか発表予定です。お楽しみに！

◎レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症研修会

医療法人ふらて会西野病院 神経内科 中山寛人先生

昨年度、人気の講座で多くの申込をお断りしましたが、本年度リニューアルして内容も充実、資料も倍以上、より理解が深まる研修でした。

- ・私たちの仕事は、失いつつある「絆」を取り戻す事、という言葉に感銘を受けました。陥りがちな「わな」に気をつけて仕事をしていこうと、気持ちを新たにしました。
- ・病気や症状に焦点をあてた支援に偏ってしまっていた。本人そのものをしっかり見ていき、バランスの良い焦点化で支援したいと思いました。

講師の中山先生のお人柄に惹かれると共に、その診療姿勢に感銘を受けた方も多かったようです。認知症のなかでも支援の難しい疾患ですが、頑張って支援していきたいと思える研修でした。

◎施設介護支援専門員研修会～生活を支援する視点でプランニング～

特別養護老人ホーム旭川敬老園 園長 森 繁樹先生

冒頭では、施設介護支援専門員は何をするのか？生活を支えるとは具体的に何を指すのか？そもそも生活を理解しているか？と取り組み姿勢を問いかけ、施設に戻って一緒に考えるよう促されました。そのうえで、現場を踏まえた具体的な支援の教示をいただき、深い学びに繋がりました。

- ・介護の本質にふれた研修だと思った。非常に考えさせられた研修だった。
- ・他施設の人と情報交換もでき、自分の仕事というものを改めて考える良い機会となりました。
- ・ケアモデルの視点と支援の考え方、介護支援としてのケアプランの目的、介護課題と生活・福祉課題の違い等、整理できるよう伝えて下さったことが良かった。日々の関わりを見直したい。

最後に流された、ある施設入所者の人生史 DVD では涙を流す受講生の姿がありました。最期の生活の場面で、私たちがなにを成すべきかを考えたときに、現実とのギャップで胸苦しい思いにもなりました。

◎制度改正に対応しよう！法令を読み解き、理解を深める研修

山口県介護支援専門員協会 会長 佐々木啓太先生

県下3会場で27年度改正解説と法令の読み解き方を学びました。

各研修にご参加、アンケートにご協力くださった方々に、厚く御礼申し上げます。

本年度後半に開催予定の研修（いずれも仮題）

- ・看取りの支援（山口県立総合医療センター ヘキ地医療支援センター長 原田昌範氏）
- ・医療ニーズの高い利用者支援のための研修・パーキンソン病（国立精神・神経医療研究センター 緩和ケア認定看護師 花井 亜紀子氏）
- ・うつと認知症（原田医院 医師 原田和佳氏）
- ・業務管理～ケアマネジャー仕事の流儀～（社会福祉法人希望の丘 地域部長 江上 文幸氏）
- ・スーパービジョン実践のための基礎理論（植田寿之氏）
- ・スーパーバイザー養成研修実践編（大牟田天領病院 梅田真嗣氏）

